

安全にお使いいただくために

取り扱いを誤った場合、お子さまの転落等、

ケガや危険のおそれがあります。

安全に使用していただくために、必ずお守りください。



警告

●検診で股関節等に異常があると診断されたお子さまには使用を中止し、お医者さまにご相談ください。

●使用いただけるお子さまの月齢

対面抱っこ……………首がすわってから12ヶ月（体重11.3kg）頃まで

前向き抱っこ……………おすわりできる頃から12ヶ月（体重11.3kg）頃まで

腰抱っこ……………おすわりできる頃から24ヶ月（体重13.5kg）頃まで

●安全の為に抱っこ時は必ず手を添えてご使用ください。

●両手を離しての抱っこはしないでください。

●お子さまの抱っこ以外の用途には使用しないでください。

●セーフティベルトは必ず装着して使用してください。

●使用の際は、走ったり、跳んだり、45°以上の前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。

●使用したまま車や自転車に乗らないでください。

●火のそばでは使用しないでください。

●お子さまが立ち上がったり、そり返ったり、動いて安定しない場合は使用しないでください。



注意

●授乳後30分位は使用しないでください。また、連続2時間以内のご使用としてください。

●テールやベルト先端の返し縫い部は、ほどいたり、切り落としたりして使用しないでください。

●着脱の際は、腰を低くした姿勢で行ってください。また、他の人に介添えしていただくとより安全です。

●お子さまを壁やドアにぶつけないように注意してください。

●製品を洗濯する際は、製品に付いている洗濯絵表示にしたがってください。

●やぶれ、ほつれ、傷等、またリングやバックルが破損した場合は使用しないでください。

●縫い目をほどいたり、改造したりしないでください。

●バックルをとめる時、はずす時は、お子さまや使用者の皮膚等をはさまないように注意してください。

●使用したままかがみこむときは、腰からではなくひざを折りましてかがんでください。

●かがんだ時にテールを踏みつけて転倒しないように、また、車のドア、手すり、エスカレーターなどに絡まないようにしてください。

お手入れ方法

- 色落ちすることがあります。他のものとは別に洗ってください。
また、つけ置き洗いも避けてください。
- 洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。
バックルなどの破損につながるおそれがあります。
- 漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は使用しないでください。

スリングキャリー〈デイリー〉

取扱説明書



ご使用になる前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください。

また、取扱説明書は必ず保管してください。

本品を他のお客さまにお譲りになるときには、
必ず取扱説明書もあわせてお渡しください。

材料・部材は充分に選別しておりますが、主なる素材が繊維であるため、
使用頻度にもよりますがお使い始めてから約3年を耐用年数とお考えください。

LUCKY ラッキー工業株式会社

〒503-2423 岐阜県揖斐郡池田町青柳83-8 TEL 0585-45-7425 SG基準認定工場第31-001号

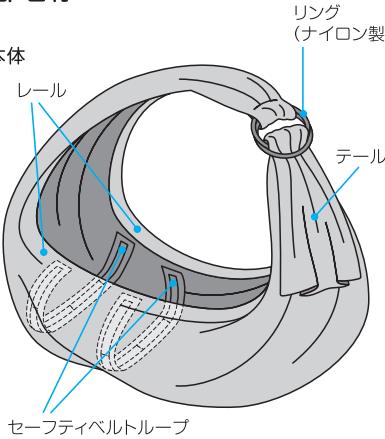
生産物賠償責任保険(PL保険)付

ホームページアドレス <http://www.lucky-baby.co.jp>

ご使用方法

各部名称

●本体

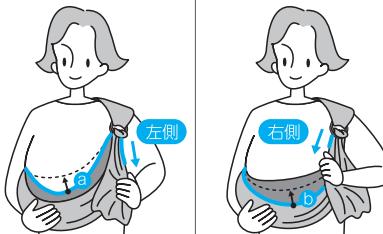


●セーフティベルト



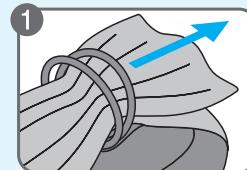
・レールの長さの調節の仕方・

- テールの左側を引くと
④レールのゆるみがなくなり、使用者の体にフィットします。
- テールの右側を引くと
⑤レールが使用者側に寄り、より密着し安定します。

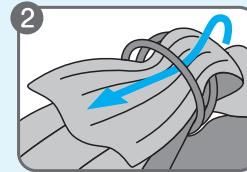


1 まずははじめに

本体をリングに通します

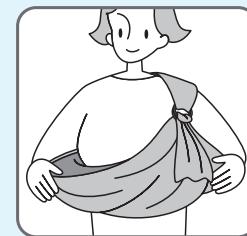


本体の先を両端からひだを寄せ
2本のリングに通します。



図のように折り返して片方のリ
ングに通します。

たすき掛けにします



リングが鎖骨の下あたりの位置に
くるようにたすき掛けにします。
抱っこしたときに、お子さまが
使用者のおへそより上の位置に
くるように、あらかじめリングで
長さを調節しておきます。

2 お子さまの月齢に合わせて 抱き方を選びます。

月齢 抱き方

12 首
かが
月頃
まで
から

お互いの顔と顔が
向き合うので、
コミュニケーションがとれます。



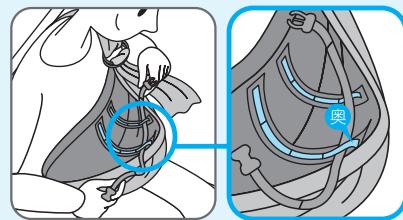
赤ちゃんの視界が広がり、
好奇心を満たします。



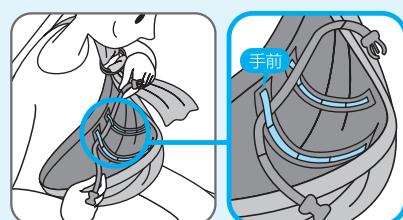
おすわりができる
腰抱っこで
おでかけがより楽しくなります。
本体を右肩に掛けた場合は、お子さまの頭は使用者の左手側になります。



3 セーフティベルトを セットします。



セーフティベルトを図のよう
に、使用者から見て奥にある
セーフティベルトループに通します。
※抱っこしたときお子さまと使用者は向き合う形になります。



セーフティベルトを図のよう
に、使用者から見て手前にある
セーフティベルトループに通します。
※抱っこしたときお子さまと使用者は同じ方向を見る形になります。

4 お子さまを 入れます。



お子さまを抱き上げ脚から入れ、
お子さまの背中とお尻を包み込みます。
脚と両うではレールから出します。
※電車等混み合った場所では、スリン
グ本体にお子さまの手を入れて
いただくと安心です。



お子さまを前向きに抱き上げます。
あぐらをかくように脚を交差させて
お尻から入れます。
両うではレールから出します。

5 セーフティベルトを とめます。



セーフティベルトをお子さまの脇下
から回し、長さを調節してバックル
でとめます。
※お子さまとベルトの位置が合わ
ないときは、お子さまをおろして位
置を調節し直してください。



セーフティベルトをお子さまの脇下
から回し、長さを調節してバックル
でとめます。
※お子さまとベルトの位置が合わ
ないときは、お子さまをおろして位
置を調節し直してください。

6 お子さまを必ず 手で支えてください。



背中とお尻がしつかり包まれている
かを確認してください。レールのだ
ぶつきやお子さまと密着しない時は
レールの調節をしてください。

・「レールの長さの調節の仕方」参照
※お子さまがよく動いて安定感のない場合は
使用を中止してください。

お子さまと密着するようにレールを
調節してください。

・「レールの長さの調節の仕方」参照
※お子さまがよく動いて安定感のない場合は
使用を中止してください。

背中とお尻がしつかり包まれている
かを確認してください。レールのだ
ぶつきやお子さまと密着しない時は
レールの調節をしてください。

・「レールの長さの調節の仕方」参照
※お子さまがよく動いて安定感のない場合は
使用を中止してください。

はずしかた

装着するときの手順を逆にして行います。はずすときも、他の人に介添えしていただくと、より安全です。

※説明図は使用者の左肩に掛けた場合です。
右肩側もできます。